

事業概要シート

施策	1601	観光交流のまちづくり	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	グリーン・ツーリズム推進事業	その他の見直し	予算額 1,796 千円 ≪ 1,796 ≫ 千円
事業期間	令和5年度 ～ 令和7年度		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 1,796 千円 一般財源 千円
根拠法令要綱等	大村市グリーン・ツーリズム推進事業費補助金要綱		

【事業の目的・概要・対象】

【事業目的】

大村市内における交流人口の拡大及び地域の活性化を図るため、農家民泊の更なる拡大、安定的な宿泊の定着となることを目指す。

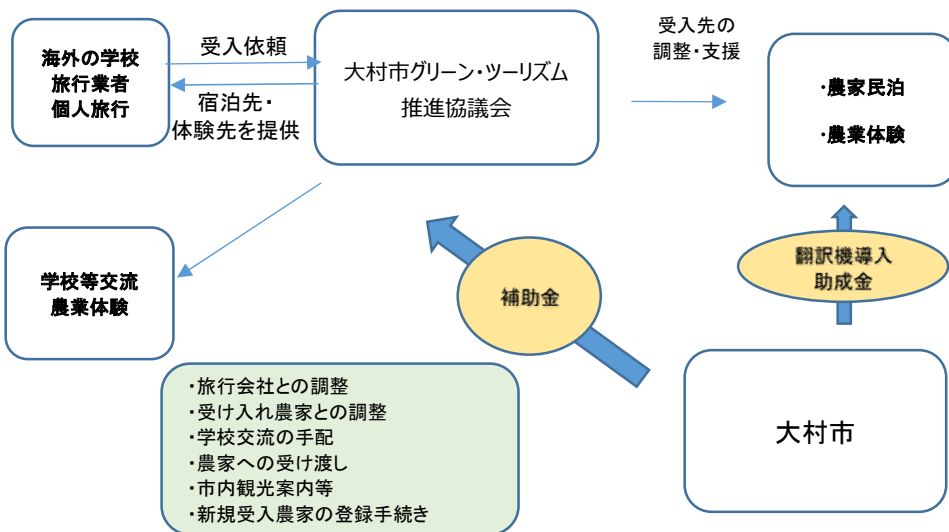
【事業概要】

農家民泊、自然を活用した体験型観光を推進する大村市グリーン・ツーリズム推進協議会に対して事業費の補助を行う。また、受入農家への翻訳機購入の助成を行う。

【対象】

大村市グリーン・ツーリズム推進協議会、受入農家

- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会へ事業費補助
- 受入農家へ翻訳機導入費用の助成



【背景】

新型コロナウイルスの影響により、人流に制限があったことから、それまで増加傾向にあった海外からの教育旅行で農泊体験を行うインバウンド客は皆無となったが、コロナ禍での個人・少人数旅行や県内旅行等の近隣地域内でのマイクロツーリズムの人気や、ワーケーションの需要増加の背景により、令和3年度からは国内旅行者へ対し、グリーンツーリズムの魅力発信に努めている。

今後、入国制限の規制が緩和され、インバウンド需要の回復を見据え、国内外からの農泊、農業体験の受け入れ体制の強化に取り組むため、令和5年度以降も継続的な支援を行うこととする。

担当課	産業振興部観光振興課	課長	上野 秀徳
担当者	辻丸 理絵	問合せ先	0957-53-4111 (242)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	グリーンツーリズム協議会インバウンド受入実数	人	0	800	800	800	800
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	大村市外国人宿泊客実数	人	213	5,000	5,000	5,000	5,000
②	大村市グリーン・ツーリズム推進協議会農泊施設数	軒	9	9	10	11	12

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計
事業費	1,840	1,786	1,796	1,796	1,796	1,796	10,810
国庫支出金	1,840	1,786	1,796	1,796	1,796	1,796	10,810
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源							0
人件費	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091	6,545
職員(人)	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.90人
時間外勤務(h)							0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	2,931	2,877	2,887	2,887	2,887	2,887	17,355

妥当性 (市の関与)	事業実施により、大村市の安定的な宿泊の定着につながり、市内の地域の活性化に有効であるため、市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	事業実施により、国内外から観光客の取り込みとともに交流人口の拡大が図られるため、施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	協議会が主体的に行っている事業であり、委託や直営で執行するより補助を行うことは有効である。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり